

守って！ 交通安全ルールを

先日，本学学生の運転する車が，歩行者をはね死亡させるという痛ましい事故を引き起こしました。

交通事故は，被害者はもちろん加害者も大きな痛手を被るばかりか，家族，友人といった周囲の人をも悲しませることになります。

街中には車が溢れています。そんな状況で車を運転する限り事故の危険は常についてまわります。

車は便利な道具であると同時に，一瞬にして命を奪ってしまう凶器でもあるのです。どうかそれを忘れないでください。

もし，不幸にして事故に遭った場合には，何をおいても被害者の救済にあたるとともに，警察に通報してください。

それが，車を運転する者のつとめです。

そして

今一度，交通安全について考えてください。

決して「自分は大丈夫」と思わないでください。

車に乗る際は，「安全運転」と唱えてください。

平成20年9月26日

学 生 課